

2024 年度聖学院大学自己点検・評価(総括)

聖学院大学内部質保証推進 IR 委員長

① 2024 年度聖学院大学自己点検・評価 概要

(目的)

聖学院大学は、聖学院大学 内部質保証推進 IR 委員会内規第 1 条第 1 項に定める「大学学則第 2 条に定める本学の設立目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育研究活動等の状況を把握したうえで、教育研究の改善に努めること」を目的とし、自己点検・評価を実施する。

(体制)

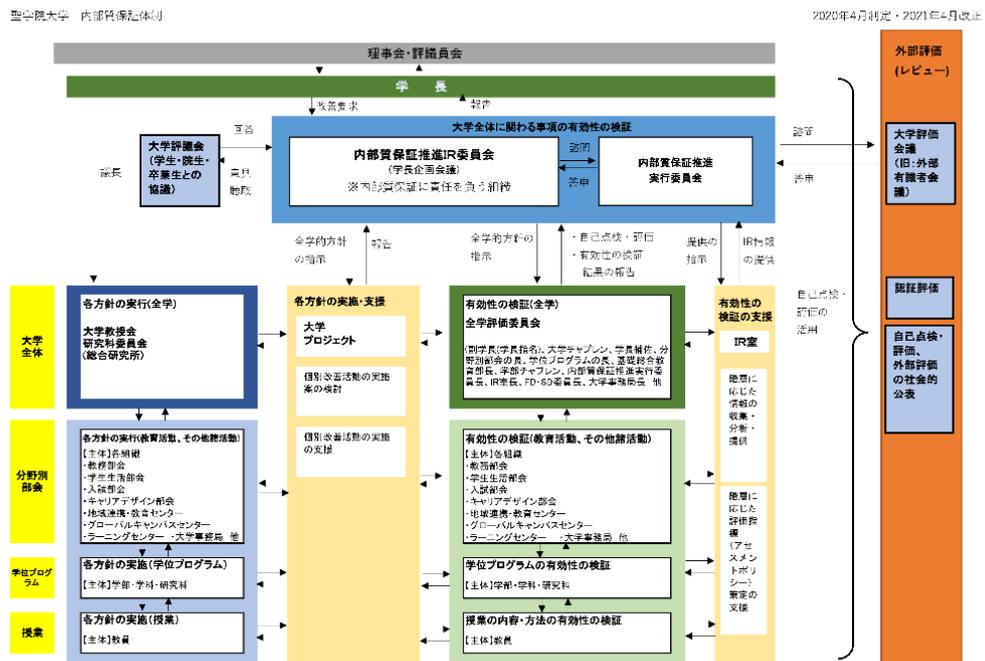
聖学院大学における自己点検・評価は、聖学院大学 内部質保証推進 IR 委員会内規第 11 条第 1 項に定めるとおり、内部質保証推進 IR 委員会から全学的方針の指示を受けて設置される全学評価委員会が実施する。各組織は、全学評価委員会の指示を受け、それぞれ所管する事項について、自己点検・評価を実施する。全学評価委員会構成員は、聖学院大学内部質保証推進 IR 委員会内規第 11 条 3 項により組織される。

聖学院大学 大学評価

<https://www.seigakuin.jp/about/disclosure/evaluation/>

聖学院大学 内部質保証方針

https://www.seigakuin.jp/about/disclosure/evaluation/evaluation_01/



(自己点検・評価制度)

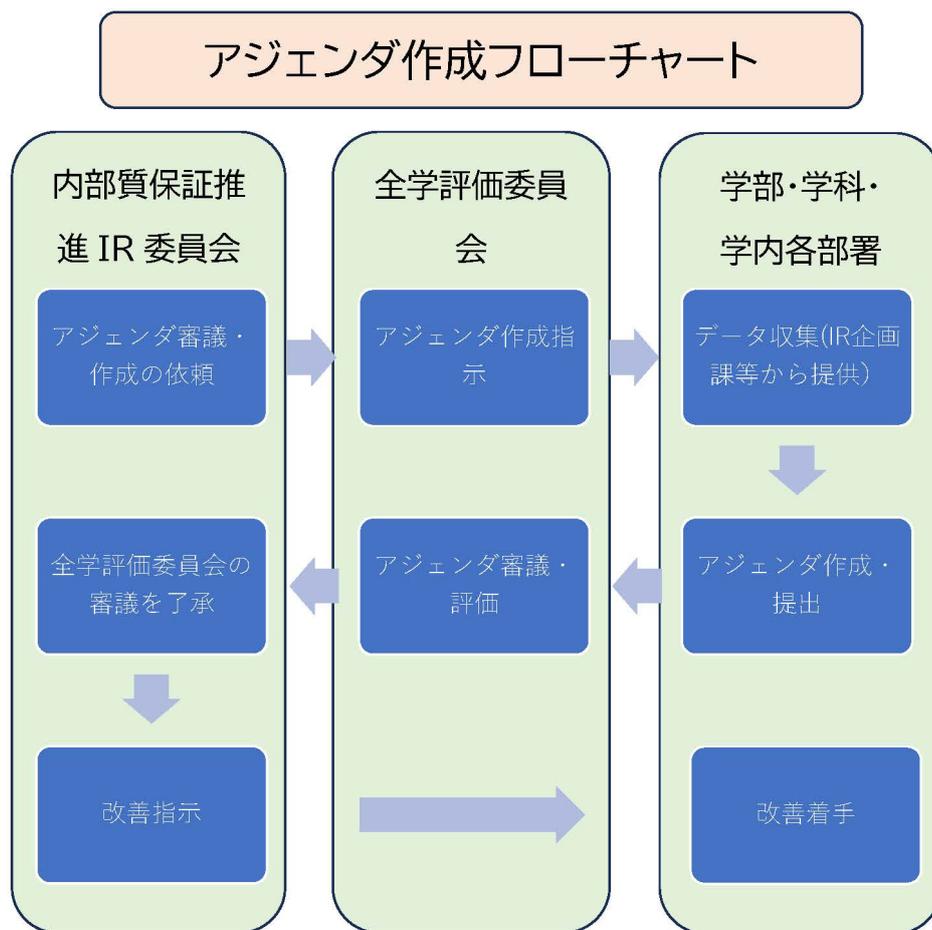
聖学院大学内部質保証推進IR委員会内規第2条のとおり、自己点検・評価は本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備に係る組織の全てにおいて実施し、各組織は、IR室より提供される客観的な根拠資料又はデータに基づき、教育研究等の状況を組織的かつ定期的に把握し、改善に努めることとしている。

2020年度より本学は新たな内部質保証体制を構築した。内部質保証推進IR委員会より諮問を受けた内部質保証推進実行委員会は「聖学院大学アセスメントポリシー」の内容を含めた部署別の自己点検・評価項目を作成し、この項目を中核として内部質保証推進IR委員会は自己点検・評価制度を改定した。2024年度は、この自己点検・評価の実施4年目となる。

なお、2024年度も自己点検・評価時に各組織から寄せられた意見をもとに、アセスメントポリシーの評価基準を1か所修正した。

② 2024年度自己点検・評価 実施内容

2025年2月19日内部質保証推進IR委員会決定の2024年度自己点検・評価方針に基づき、以下の通り自己点検・評価を実施した。全体の流れは以下のフローチャートのとおりである。



I、各組織の自己点検・評価・アジェンダ作成（2025年3～5月）

- ① 全学的観点から設定された部署別の自己点検・評価項目により自己点検・評価を実施。
- ② ①を踏まえて当該年度のアジェンダを総括。評価が3～5の場合は必ずコメントする。
- ③ ②を踏まえて新年度のアジェンダ（改善計画）を作成。

自己点検・評価項目には「聖学院大学アセスメントポリシー」の内容を含め、アジェンダをより総合的にしている。また自己点検・評価項目は、1. 教育研究組織、2. 入学者選抜、3. カリキュラムの内容・学修方法・学修支援又は学修成果（教育課程・学修成果）、4. 学生支援、5. 社会との接続、6. 施設・設備とした。

<聖学院ビジョン 2023-2027(法人第2期中長期計画)に対する各組織プラン策定>

聖学院ビジョン 2023-2027(法人第2期中長期計画)の策定時、聖学院大学では、ビジョン実行プランを担当する学内組織を指定した。

自己点検・評価/アジェンダ作成の際に、ビジョン実行プランに対する各組織の実行プラン（自組織プラン）も合わせて策定し、年度末にプランの達成状況を自己評価する。

II、全学評価委員会による自己点検・評価の確認評価（改善案を含む）（2025年6～7月）

Iで行われた各組織の自己点検・評価・アジェンダを、全学評価委員会により確認・評価を行い、全学評価案を別紙1のとおりまとめた。なお、今回は大学基準協会による大学評価受審（2021年度）3年後の改善報告書提出年度であったため、全学評価案の作成時期を例年より1か月変更した。

III、内部質保証推進IR委員会による2024年度自己点検・評価の指摘・改善への助言（2025年7月）

各組織の2024年度自己点検・評価、2024年度アジェンダ総括・2025年度アジェンダ、聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括、聖学院ビジョン2025年度自組織プランについて、全学評価委員会の確認のとおり、概ね妥当であると判断し、指摘・改善への助言事項についても全学評価委員会の全学評価案を承認する。なお、自己点検・評価

内部質保証推進IR委員会は、上記全学評価委員会による全学評価に重ねて、以下の点について、各組織に改善活動を推進するよう指示する。

（聖学院ビジョン実行プラン修正に伴う聖学院ビジョン2025年度改善活動の推進）

法人中長期計画「聖学院ビジョン」(第二期、2023～2027年度)の5つの重点実施項目に基づき、本学では教育改革を進めている。2024年度に再定義した方針に基づき大学・大学院実行プランを一部修正し、該当組織は修正プランに基づき2025年度自組織プランを策定している。このなかで、特に2025年度より実施した入学定員適正化に伴う入学者確保に向けた入試広報戦略・教育課程の見直し、組織の適正化及び離学者対策の検討を行い、着実に推進していただきたい。

IV、2024 年度自己点検・評価における内部質保証推進 I R 委員会のマネジメントの適切性の自己評価 (2025 年 7 月)

2024 年度自己点検・評価(2024 年度アジェンダ総括・2025 年度アジェンダ作成・聖学院ビジョン 2024 年度自組織プラン総括、聖学院ビジョン 2025 年度自組織プラン作成)において、内部質保証推進 IR 委員会における PDCA サイクルのマネジメントは適切に行われたと判断する。
なお、2025 年度末に大学基準協会より「改善報告書に対する検討結果」が通知予定である。本学の内部質保証に関する評価がなされた場合、その評価をもとに今後の自己点検・評価及び改善活動を精査する。

以上

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
01-1学長企画会議	自己点検・評価は概ね妥当である。	「2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善の提案）なし	概ね妥当である。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。 （指摘・改善の提案）なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」は概ね妥当である。ただし、旧大木研究室の図書館機能としての使用、ラーニングセンターの図書館へ移転に対する対応については、より一層の対応を期待したい。
02-1政治経済学部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。特に「6学系の横断的な学び」について、専任教員の退職後を見据え、中期的な発展方向について意見交換を行っていることは評価できる。 （指摘・改善への提案） 2025年度には内規の改定に着手することが望まれる。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。特に、学科の留学生比率や学生募集における志願者の希望分野を考慮しようとしている点は評価できる。 （指摘・改善への提案） ①留学生の指導にあたる専任教員1名（2025年度末退職）、②経営学分野の専任教員2名（2027年度末退職）の後任人事については、大学の財政状況や入学者募集状況を見据えて適切性を検討することが望ましい。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。学科会や学科未来構想会議における意見聴取と情報交換を受けて作成された計画が着実に遂行されることに期待したい。 （指摘・改善への提案）なし
02-2人文学部	自己点検・評価は概ね妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。学科定員を充足できた学科が3学科中1学科にとどまったという状況を真摯に受け止め、3学科がそれぞれ主体的かつ責任をもって学生募集への取り組みを進めていることの結果が期待される。 （指摘・改善への提案）なし。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。欧米文化学科の国際文化学科への名称変更に伴い、従来とは異なる広報戦略のもとでの取り組み、子ども教育学科については資格課程に依存しない学生募集への展開、日本文化学科は留学生募集、と、各学科それぞれの課題が明示されていることは評価できる。 （指導・改善への提案）困難な状況であるからこそ、課題の克服に向けて、3学科が連携しての協働が進むことが期待される。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は、概ね妥当である。2025年度入学生カリキュラムから、人文学部内での共通開設科目・複数学科の相乗り科目を整理し、教育課程規模の適正化について検討を進め、2026年度（一部で2025年度）からの開講科目とそのクラス数および担当者に関する整理を行うといった改革を進めていることを評価したい。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。特に、ターゲット層と教育課程のマッチングに留意し、その内容がターゲット層に届くための言語化を進めることは重要である。 （指導・改善への提案）なし。

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
02-3心理福祉学部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。「心理学系教員は全員が心理相談室の運営に関与すること」とする、その具体的な運営方法について簡潔にお示し頂きたい。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」項目との整合性がある。一方で、その施策の具現化に到る当該年度の具体的な目標事項などを示して頂ければ幸いである。
03-1基礎総合教育部	自己点検・評価内容はおおむね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は適切である。特に、全学共通カリキュラムの見直しを行い聖学院エッセンシャルズ科目群の設置という成果につながったこと、データサイエンス分野の教員が確保されたことは高く評価できる。 （指摘・改善への助言）なし	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） 「Q12」について、学科により日本語力向上のためにカリキュラムに見直すべき点があるとすれば、そのことを学部学科とどのように共通認識して改善に取り組むのか、より具体的に記載いただきたい。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） O1A3末尾に「先日実施されたテストの結果が判明次第、進捗を分析する」と記載されているが、「先日」とはいつのことで、分析の実施はいつ頃を見込んでいるのか、総括のため2024年度に実施できたことと2025年度に送ることを明確にする記述を求める。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし
04-1政治経済学科	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。1点、修業期限を越えて卒業する学生への対応が、留学生の日本語の問題として議論されている点について、日本人学生の実態を含むより多角的な施策の検討を課題として頂きたい。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。「地域中核人材の育成」という学科スローガンに接続する学生募集の具体的な施策の検討を継続して頂きたい。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は整合性がある。「学びのカスタマイズ」という施策に向けた具体的な対応として学科会における「アクティブラーニング」実践報告を計画されているが、別の論点が議論されてよいのではないだろうか。

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
04-2欧米文化学科	自己点検・評価は概ね妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。数値データで示された学科の直面するさまざまな問題点を把握していることが窺われる。それらの対処方法が、より具体的に示されることが望まれる。	「③2025年度アジェンダ」に内容は概ね妥当である。さまざまな課題に対して、学科会での事例・学生情報の共有を進めていることは評価できる。 （指摘・改善への提案）学科名変更に即した具体的な活動内容が、アジェンダにも明示されることが望まれる。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。自組織が行っているさまざまな取組みについて真摯な振り返りと課題の把握を行っている点は評価できる。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。しかし、学科名称変更に関する直接的に言及した記述は「学科名称変更記念講演会」の実施に限られている。学科名称変更という大きなチャレンジが、自組織プランへどのように反映されるのかを明示することが望まれる。
04-3日本文化学科	自己点検・評価内容はおおむね妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容はおおむね妥当である。 （指摘・改善への助言） 入学者数の推移については、定員を1名超えたことを高く評価されているが、学科の掲げる「本物志向」とは何を指し、受験生にどのように評価されたのか、その検証は何を用いて行われたのかを明記されることが望ましい。	「③2025年度アジェンダ」の内容はおおむね妥当である。 （指摘・改善への助言） 「2入学者選抜」については、前年度に続き定員確保に向けて入試広報の工夫が多面的に行われようとしており成果が期待される。3教育課程・学修成果については、数量的スキル獲得を長期的課題として捉えておられることから、どのように課題に取り組む計画かを中長期を見通して記述されることが望ましい。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容はおおむね妥当である。 （指摘・改善への助言） 01H3は、聖学院高校への出張授業や、教職懇談会が行われていることから、総括としてはその成果を具体的に記述することが望ましい。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容はおおむね妥当である。 日本語教員養成課程の新設について言及する必要はないか。
04-4子ども教育学科	自己点検・評価は概ね妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。ガイダンス、カリキュラム編成などにおいて、資格課程に偏らない説明や学生の興味関心の醸成、学修内容の多様化への意識を高めていることは評価できる。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。2025年度からの入学定員変更に伴い必要とされる様々な適応を把握、計画していることは評価できる。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。学科が計画・実施したさまざまな取組みについて、しっかりと振り返りを行い、PDCAサイクルを回していることは評価できる。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。学科の教育、諸行事とDPとの結びつきを、明確にしようとする計画は評価できる。また、広報活動においてもさまざまな取組みがなされており、これらが出願数の増加につながることを期待する。

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
04-5心理福祉学科	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。当該学科の教育によって資格を取得して卒業生を輩出している実態に対して、卒業生のアンケートの結果との齟齬が目目される。現状のアンケートが抱える課題として問題提起があってよいかもしれない。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。「数量的スキルを向上させる取り組み」については2024年度と同等の目標を掲げるが、これまでとは異なる視点からの施策を議論することをお願いしたい。	「④2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」項目との整合性がある。
05-1政治政策学研究所	自己点検・評価内容は妥当である。引き続き、PDCAサイクルを念頭に課題の発見と不断の改革に取り組んで頂ければ幸いである。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。新卒生の進学に関する取り組み（「5年制」の振り返りを含む）、内部進学の促進などの検証・議論を行う必要もあるのではないだろうか。	「④2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」項目との整合性がある。当該研究科の学問的特性を活かした取り組みには期待がされる場所である。
05-2文化総合学研究所	自己点検・評価内容はおおむね妥当である。DPループリックの整備や、カリキュラム再編成など、入学者確保の暁には奏功すると思われる改革が行われており、今後の成果に期待したい。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容はおおむね妥当である。	「③2025年度アジェンダ」の内容はおおむね妥当である。博士後期課程に所属する大学院生の指導を行うという、文化総合学研究所に固有の責務に真摯に向き合い、改善を進めている。こうした努力が実を結び、適正な在籍者レベルを確保することを期待したい。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容はおおむね妥当である。 （指摘・改善の助言） やや抽象的な記述が目立つが、たとえば大学院進学のためのマニュアル活用の成果などが報告されることは望ましい。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」の内容はおおむね妥当である。2023年度に行った諸改革を検証する年度であり、期待される成果が上がることを祈念する。研究公正、研究倫理の観点からの研究推進体制の整備や入試広報について指摘された、大学院全体での取り組みの必要性は、重要である。今後、3研究科合同での取り組みを強化することが求められる。
05-3心理福祉学研究所	自己点検・評価は概ね妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。	「③2025年度アジェンダ」の内容は妥当である。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。DPループリックのコースごとの導入について、他研究科との情報共有がなされることを期待する。

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
06-1総合研究所	自己点検・評価内包は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「③2025年度アジェンダ」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし
07-1総合図書館	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善の提案）なし	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善の提案）なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 「予算の緊縮化」という条件下での困難は察せられるものの、アジェンダによる年次の自己点検では極めて適合性の高い大学の教育研究組織の一つとして、積極的な改修プランを策定することも検討してもよいのではないか。 （指摘・改善の提案）なし
08-1グローバルキャンパスセンター	自己点検・評価内容は概ね妥当である。	「2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善の提案）なし	「2024年度アジェンダ総括」において「旧来の内規が残っているが」と記述があることから、「2025年度アジェンダ」において「引き続き…（中略）…旧来の内規が残っているか精査を行い」とあることは実務上の不整合が懸念される。規程の整備は組織の根幹をなすことから、確認を要する。	「④2024年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。 （指摘・改善の提案）なし	「⑤2025年度自組織プラン」の内容は妥当である。 グローバル化が進展する地域にあって、地域になくてはならない大学を体現するために、日本人学生と留学生が共に取り組む新たな実行プランが加えられたことに期待したい。 （指摘・改善の提案）なし

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
09-1ラーニングセンター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「③2025年度アジェンダ」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） 実行プランにあるラーニングセンターの「改修」にあたっては、アンケートをつうじて学生の声を集めつつ、また他大学の事例も検討していく等、具体的なプランが、「2025年度自組織プラン」に盛り込まれてもよいのではないかと。
10-1教職支援センター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「③2025年度アジェンダ」に対する所見は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	/	/
11-1ボランティア活動支援センター	自己点検・評価内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） 2023年度に法人全体で実施された規程集メンテナンスから漏れてしまったと思われるが、「ボランティア活動支援センター内規」第2条第3項について「 <u>大学事務局管理部長</u> 」、「 <u>センター職員</u> 」等、他のセンター内規（地域・連携教育センター内規等）に合わせ修正した方がよい。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。 従来行われてきた取り組みだけではなく、能登半島地震・豪雨災害地でのボランティアや学内で取り組めるボランティアを企画・実施したことは大いに評価できる。 （指摘・改善への提案） なし	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） 学外組織との連携は十分に取られているので、学内組織との連携について引き続き取り組んでいただきたい。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案） 学生エンカレッジセンターをはじめとする学内連携も期待したい。

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
12-1地域連携・教育センター	自己点検・評価内容は概ね妥当である。 (指摘・改善への提案) 2024年度聖学院ビジョン実行プラン「01H3」の達成状況が、2023年度の70%から30%に大きく後退しているが、自己評価が厳し過ぎるのではないか。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。 (指摘・改善への提案) なし	「③2025年度アジェンダ」の内容は妥当である。 (指摘・改善への提案) なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 (指摘・改善への提案) ・「01H3」の達成状況が、2023年度の70%から30%に低下してしまっている。 ・聖学院中高、女子聖学院中高との「東北スタディツアー」の再開を期待したい。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 (指摘・改善への提案) ・2025年度自組織プランが着実に遂行され、2023年度から後退している「01H3」の達成状況が再び向上するよう期待したい。 ・「01H8」について、具体的な実行プランを検討していただきたい。
13-1教育開発センター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。 (指摘・改善の提案) なし	「③2025年度アジェンダ」の内容は妥当である。 (指摘・改善の提案) なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。 (指摘・改善の提案) なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は妥当である。 GPS-Academicの受検率を向上させたことに加え、新設科目「聖学院大学論」と紐づけ、学修者主体の学びとして実質化が図られている点が評価される。 (指摘・改善の提案) なし
14-1サステナビリティ推進センター	自己点検・評価内包は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の記載なし。妥当と判断する。 (指摘・改善への助言) なし	「③2025年度アジェンダ」の記載なし。妥当と判断する。 (指摘・改善への助言) なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見は概ね妥当である。 (指摘・改善への助言) なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見は概ね妥当である。 (指摘・改善への助言) なし

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
15-1大学広報センター	<p>自己点検・評価内容は概ね妥当である。</p> <p>（指摘・改善への提案） 2024年度アジェンダ総括について、「PDCAサイクルの確認」について、「運営委員会の定期的な開催が出来なかったため、PDCAサイクルによる確認が不十分であった。」とあるが、対応するQ4の評価が「2. 適切」となっている。評価に見合うよう2025年度はPDCAサイクルの確認を実施していただきたい。</p>	<p>「②2024年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。</p> <p>（指摘・改善への提案） なし</p>	<p>「③2025年度アジェンダ」は妥当である。</p> <p>（指摘・改善への提案） なし</p>	<p>「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理広報について、法人管理職対象「危機管理広報セミナー」および事務系管理職対象「危機管理広報研修」を実施、また各校広報活動アンケートを実施・共有したことは、大いに評価できる。 ・「05B1・05B2」の達成状況について2023年度の0%から80%まで向上したことは大いに評価できる。 <p>（指摘・改善への提案） なし</p>	<p>「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」は妥当である。</p> <p>（指摘・改善への提案） 「Q5B3」の聖学院エッセンシャルズをはじめとする教育改革に関する情報公開・広報について、基礎総合教育部や教育開発センターなど関係部署と連携のうえ進めていただきたい。</p>
16-1IR室	<p>自己点検・評価内容は概ね妥当である。</p>	<p>「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。定型業務の着実な実施に加えて調査依頼への対応実績があるにも拘らず、IRの適切性に関して「どちらともいえない」という自己評価が示されている。大学の進むべき方向性に即した意志決定を支える情報提供がIRの役割であることを踏まえると、こうした自己評価が示されることは重い。 （指摘・改善の提案）なし</p>	<p>「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善の提案）なし</p>	<p>「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善の提案）なし</p>	<p>「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。特に大学院修了生を調査対象とする実行プランは大学院改善に必須であり、期待される。 （指摘・改善の提案）なし</p>

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
17-1入試部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」についてはおおむね妥当であるが、他大学の取組等の記述に紙幅が割かれており、やや冗長となっていることから、本学の取組との比較対象とするに留め、大学入試を取り巻く状況についてリサーチし、2024年度の取組をどのように総括したのか、端的に記述することが望ましい。 （指摘・改善への提案） Q6, Q7に関しては現状の妥当性を認識するに留めることなく、問題点の分析と改善策の検討が求められる（必ずしも入試部のみで取り組めることではないとしても、入試部から学内各部署へどのような働きかけをしようとするかを記載することも有用である。）	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 多くの点についてできたものと達成できなかった点の振り返りが確実になされている。 （指摘・改善への提案） 「01H3」について、総括としての記述が求められるところ、実施したことや「検討中」といった記述になっており、実施後の総括として成果や課題まで記述することが望ましい。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） 「01H1」については、現状が記述されているものの、何を目標としているかが明記されていないため、プラン実行後の評価が難しいのではないかと懸念される。
18-1教務部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。	「③2025年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。引き続き離学者対策への地道な対応をお願いするとともに、教職員協働の加算から、是非、学科・学部教員の取り組みの提案を行って頂きたい。	「④聖学院2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」項目との整合性がある。 「聖学院エッセンシャルズ」についてはより魅力のある教材開発が求められるところである。特に基礎総合部との連携による新設科目（特に体験学習を踏まえた科目）への取り組みを示して頂ければ幸いである。
19-1学生生活部	自己点検・評価は概ね妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は、妥当である。	「③2025年度アジェンダ」の内容は、妥当である。離学理由の記述についてのフォーマットの変更に伴い、入手できる情報の質と量が変わることが予想される。これらの情報を学生支援に活かす仕組みを検討することを期待する。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は、概ね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は、概ね妥当である。 01G4の「課外活動を通して外国にルーツのある住民が社会・地域において増加するなかで求められる専門人を育成し送り出す」は、何を意味するのかがやや不明である。より具体性をもった計画を期待する。

別紙1 2024年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2025年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
20-1キャリアデザイン部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。全学共通の課題であるが、学生の「数量的スキル」に関する課題について、就職先の評価と学生自身の評価のギャップが指摘されていて注目される。この点についてのキャリアデザインの観点からご提言を頂ければ幸いである。	「③2025年度アジェンダ」の内容は概ね妥当である。	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」項目との整合性がある。今後の「聖学院エッセンシャルズ」において魅力のある、学生が自信をもって就職に取り組むことのできる、体験型の教材開発が求められるところである。当該部署が蓄積している経験と人脈を活用し、従来のプログラムの充実と、また新たな設計によるプログラムのご提案を切に期待するところである。
21-1FD・SD委員会	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」に対する所見は概ね妥当である。（指摘・改善への助言）なし	「③2025年度アジェンダ」に対する所見は概ね妥当である。（指摘・改善への助言）なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」に対する所見は概ね妥当である。（指摘・改善への助言）なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」に対する所見は概ね妥当である。（指摘・改善への助言）なし
22-1大学総務課	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2024年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。（指摘・改善の提案）なし	「③2025年度アジェンダ」の内容は妥当である。（指摘・改善の提案）なし	「④聖学院ビジョン2024年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。（指摘・改善への提案）なし	「⑤聖学院ビジョン2025年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。（指摘・改善への提案）なし